

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然への探究 …栽培物に触れる

<テーマの設定理由>

園庭に花壇やプランターを設置し年間を通し、栽培物の生長を観察できる環境を設置している。土作りや様々な植物の栽培をしながら、石、葉っぱ、虫、水など自然物への興味をもたせ「なぜ?」「どうして?」と疑問をもったことを図鑑で調べたり、皆で共有して考える活動を行っていく。

2. 活動スケジュール

6月20日

- ・園庭で遊ぶ
- ・栽培物に興味をもてるよう、声をかける
- ・栽培物の観察
- ・栽培物周囲の虫等にも目を向ける

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

虫を採集するためのバケツ、スコップ等

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

園庭での遊びの中で、幼児クラスの育てている栽培物に興味をもてるよう、声掛けする。

葉っぱや、実、花に触れて栽培物を知るとともに、その周辺にいる虫等にも関心がもてるようにする。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

園庭で遊んでいる子供たちに、5 歳児が育てていた栽培物が生長して花を咲かせていたので、植物について知っているか声をかける。「大きくなってね、お花も咲いてるよ。なんのお花かな」と聞くと、「わからない」と言う子もいたが、中には看板の絵を見て、「きゅうりだ」と言う子もいた。きゅうりの花が黄色出ること気づき、興味を深めていた。また、その根のそばにアリや見つけたところから、バケツを持ってきて、アリを入れて観察していた。さらに、ダンゴムシや幼虫を花壇の中から見つける子もいて、虫への興味にもつながっていった。

<活動の様子>



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

栽培物の看板の絵を見て、どんな野菜かなど、わかる子もいた。栽培物への興味から、虫などにも関心をもち、触るのは苦手でも興味が出てきている様子もあった。興味が出た部分をうまく拾い上げ、いろいろな活動につなげ、苦手意識がなくなっていくよう、工夫していく。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本制作と制作活動による探究 …かきごおり制作

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
夏の遊びの1つとして感触を楽しめる絵の具遊びに取り組んでいる。手や筆で色付けた模造紙を使って遊びや制作に繋げ季節の行事に興味を持ってほしいと考えたため

2. 活動スケジュール

7月1日(火) 色水遊びをする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

模造紙、絵の具、水、筆、雑巾、シート
画用紙

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・色水遊びの中で、にじみ絵を楽しむ。
- ・色の混ざり合いを楽しむ。
- ・言葉のやりとりを楽しみながら遊ぶ。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・何味にしますか、どれがいいですかとお店屋さん、お客さんになってやりとりする姿が見られる。
- ・色が混ざり茶色になったがおいしそうだねと子供同士で話す。
- ・「いちご」「レモン」「ブルーハワイ」等好きな味のかき氷を作ることを楽しむ。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・色水遊びの中で、子供たちに人気があるかき氷の制作を取り入れたことで様々な言葉のやりとりが見られごっこ遊びにもつながった。
- ・どんな色になっても子供たちは驚いたり喜んだりし色がついたり、混ざったりする様子を楽しんでいた。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然への探究 … 種植え、水やり、種の採取

<テーマの設定理由>

園庭に花壇やプランターを設置し年間を通し、栽培物の生長を観察できる環境を設置している。土作りや様々な植物の栽培をしながら、石、葉っぱ、虫、水など自然物への興味をもつ。「なぜ?」「どうして?」と疑問をもったことを図鑑で調べたり、皆で共有して考える活動を行っていく。

2. 活動スケジュール

5月 種植え
 毎日の水やり
6月23日 支柱建て
7月28日 種の採取（1つ）種の観察
 種の採取
12月 リース作り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プランター、土、種、支柱、じょうろ、すずらんテープ、OPP袋、画用紙
プランターを子供たちがよく目にする場所に設置

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ① プランターの土に指で穴をあけ、その中に種をいれ土をかける。
- ② グループごとに毎日の水やりをする。
- ③ 茎が伸びてきたら支柱を立て、スズランテープで上に伸びるように結ぶ。
- ④ 先にできていた種を採取して観察をする。
- ⑤ 引き続き水やりを行いながら種を採取していく。
- ⑥ 種の採取が終わったら、茎でリース作りをする。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

種植えでは「これで葉っぱ出てくるの？」と種を見て不思議そうにしていた。家庭で育てたことがある児が「お水あげてお日様にあてると大きくなるんだよ」と知っていることを友達に話し始める。葉が出て大きくなってくると「少しのどが渴いてるかも」と自分たちで気が付き水をあげ始める。水やりを欠かさず行っていると、風船が少しずつでき始め、「ぷにぷにしてるんだね」「強く触ったら割れちゃうよ」と触って感触を確かめていた。先にできていた種を採取し観察すると、「ハートになってる」「3つでてきた」と気が付いたことを共有する姿があった。透明の袋に入れて見やすくすると、看板が必要という話になり、画用紙に袋に入った種を貼り、周りに絵をかいて種の看板を作った。



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

種から植えたことで、毎日芽が出るのを楽しみに水あげを欠かさず行う姿があった。種が採取できると、じっくり観察して色や形の違いを共有したりハートの形に喜んだりする姿があった。

育てるだけでなく、種の採取ができたことで興味をもつようになる児も多かった。生長を見守る児も増え、種を見えるように飾っていたことでたくさん採取できるように育てようとする姿がみられた。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本制作と制作活動による探究 …寿司作り

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
5歳児の縁日ごっこで食べ物を作っているのを見て、お店屋さんをしないと話が出たため、何のお店がいいか話し合い寿司に決定した

2. 活動スケジュール

7月22日 どんな寿司を作りたいか話す
7月23日～ 材料を集めて作る
改善を重ねて様々な寿司を作る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

暖衝材、両面テープ、さまざまな画用紙、セロハンテープ、ペン、不織布、ビニールテープ、ガムテープ、輪ゴム、紙皿、箱、パック

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

暖衝材を細く切り、丸めていく。テープで止め、上に寿司ネタとなる画用紙や不織布で作ったネタを乗せる。卵は黒いビニールテープで止める。巻きずしは黒いガムテープで巻く。作った寿司や他のピザや焼きそば等でお店屋さんごっこをする。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

5歳児の作る縁日ごっこの食べ物を見て作りたいと提案がある。寿司に決まり数名で材料集めを行う。担任が提案したり、子供が提案したりしたもので作り始める。改善を重ねながら、好きな寿司を作り、ほかに必要なものを聞くと、皿と醤油とわさびが挙がり作っていく。ほかのお店もやりたいとピザや焼きそば等も作りお店屋さんを行う。大型 B ブロックで作った乗り物でピザを配達したり、他クラスに売りに行き楽しんだ。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

5歳児の姿をきっかけに好きなお店屋さんを楽しむ活動を行った。何を作りたいかどう作ったらいいか相談しながら制作していったが、さまざまなアイデアが出た。試してみることで、もっとこうしたいと意欲が増し、はじめは数人だったのが徐々にクラス中に広がっていった。作った品物でお店屋さんごっこをしたことで、存分に店員や客になりきり遊ぶ姿が見られた。自分たちで考え行ったことで普段以上に意欲的な姿があった。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然への探究 …畑づくり

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
園庭に花壇やプランターを設置し年間を通し、栽培物の生長を観察できる環境を設置している。土作りや様々な植物の栽培をしながら、石、葉っぱ、虫、水など自然物への興味をもつ。「なぜ?」「どうして?」と疑問をもったことを図鑑で調べたり、皆で共有して考える活動を行っていく。

2. 活動スケジュール

5月21日 畑づくり、野菜の苗を植える
水やり、観察
7月12日 なす収穫

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

シャベル、ふるい、じょうろ、バケツ

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・ さかもとばたけの土をきれいにする。
- ・ 雑草を抜く
- ・ 苗を植える
- ・ 水やり、観察
- ・ 野菜を収穫する

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

・ 雑草を抜いていると蟻を見つけ、畑の中に他の虫がいるかもしれないと掘り始める。幼虫を見つけ、それらをバケツに入れると互いに虫を見せ合う。その中で虫に詳しい男児が幼虫ではなく、さなぎだときづく。保育士等がなんでさなぎなのかわかるか尋ねると色や動き、皮がついているからと教えてくれ、そこから、周りにいた子らはその男児に自分の持っている幼虫はどうなのか聞いたり、友達の幼虫と比べ幼虫なのか、さなぎなのか互いに伝え合ったりしていた。

・ なすを収穫し、匂いを嗅ぐ。色々な箇所を嗅ぐとへたの部分は葉っぱの匂いがし、実の部分は匂いがしないことに気がつく。保育士等が「何で違うのだろう」と声を掛けると、「ここは（へた）葉っぱと繋がっているからだよ」と自分なりに考えたこと伝えていた。

<活動の様子>



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

・今までの色々な経験の中で得た知識を自分なりに伝えたり、友達同士で一緒に考えたり、伝え合ったりする姿もあるため、図鑑などですぐに調べることも大事だが、友達同士で考えを伝え合う場もつくることで興味関心がさらに広がることを学んだ。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本制作と制作活動による探究 …山車づくり

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
5歳児のお店屋さんごっこの活動に参加し、自分達もお神輿を作りたいと話がでたため。

2. 活動スケジュール

8月18日～山車づくりをする
9月22日 お店屋さんごっこをする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

段ボール、画用紙、スズランテープ、はさみ、セロハンテープ、のり、ペン、色鉛筆

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

自分たちでどのような神輿を作るかを考え、色々な素材を使い神輿をつくる。作った神輿をお祭りごっこで使用する。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

・以前3、5歳児の神輿を見て、クラスの子が神輿を作りたいとの声があがりきりん組会議としてその話をする。「お神輿つくりたい」と期待を膨らませていたので、どのようなものを作るか聞くと「引っ張るお神輿がいい」「紐は2本あった」「お神輿の上で太鼓を叩いていた」等と、自分たちが参加したお祭りを思い出しながら、思いを伝える。子供たちがどんなものを作りたいか、子供たちの声から絵を描きながら行くとイメージしやすく、最後は山車を作り、その中で太鼓を叩くスペースを作ることに決めた。段ボールで山車を作ることになり、保育士等も一緒に作りながら太鼓を叩くスペースは何人入るか、段ボールの上には乗れるか等、その場で考えながら山車を作っていた。作ったもので引っ張ったり、太鼓を叩いたりして楽しんだ。

・山車を使って遊ぶ中で、自分で作ったものを飾りたいと話が出たので、どんなものを作るか聞いてみると「しましまの模様がよかったよね」「りんご飴を貼る」等と色々なアイデアが出たので、色々な素材を用意し、自分の作りたいものを作り飾りつけを楽しむ。完成したものを見て「本物のお神輿みたい」と喜び、そこから「提灯もあったよね」等とイメージが膨らみ、友達とイメージを共有させながら一緒に作ることに繋がっていた。

・クラス内でのお祭りごっこの日にみんなで「わっしょい」等と山車を引っ張ったり、順番に太鼓を叩いたりと楽しんでいた。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

・神輿を作りたいとの声から、子供たちとどのような神輿を作りたいかを話し合い、山車づくりに繋がった。子供たちと話し合うことで色々なアイデアが出てきたり、そこからイメージが膨んだりし、保育士等が考えていたものよりも、アイデアが素晴らしく、みんなで考えて作り上げた喜びをいつも以上に感じていた。保育士等が考えたことを活動に取り入れるのも良いが、子供たちが考えたことを広げることの大切さを学んだ。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然への探究 …土作り、苗植え

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
園庭に花壇やプランターを設置し年間を通し、栽培物の生長を観察できる環境を設置している。土作りや様々な植物の栽培をしながら、石、葉っぱ、虫、水など自然物への興味をもつ。「なぜ?」「どうして?」と疑問をもったことを図鑑で調べたり、皆で共有して考える活動を行っていく。

2. 活動スケジュール

5月16日 土作り
5月21日 土作り、サツマイモの苗を植える
水やり当番が毎日水やりを行う
10月31日 収穫

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

シャベル、ふるい、レジャーシート、じょうろ

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・プランターに入っていた土をシートの上に広げ、シャベルやふるいを使い根っこ等を拾う。
- ・サツマイモの苗を植える。
- ・収穫をする。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・土作りでは、中にいた虫を見つけ「こんな虫もいたんだ」と触ったり「根っここんなにあった」と探したりし気が付いたことを友達と一緒に話している。女兒 1 名はしばらくすると「土のにおいが臭い」と話しその場を離れる。苗植えの時には再度近づき、「もう直ったからやってみる」と再度参加する。サツマイモはどこに出来るのか聞くと「土の下にあった」と返事がある。根っこの広がり方や植える位置の話をするると真剣に聞いており、実際に植えるときには「このくらい？」と気にする姿があった。
- ・収穫前に、どんな大きさか、何個ついているかの予想をする。去年のバス遠足や買い物での経験を活かし、それぞれ予想を口にしていった。収穫を始めると、「いっぱいついでた」と嬉しそうな表情を見せる。土の中に小さな芋が出来ていたことに気が付くと、中にもまだお芋があったよと周囲の子にも話し、土の奥深くまで探す子が多くいた。女兒がサツマイモの匂いに気が付き、「甘くて良い匂いがする」と話す。気付きを他の子にも伝えると、「本当だ」「食べるときと同じだね」と話していた。

<活動の様子>



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

毎年栽培を行ってきたこともあり、土作りの方法や水のあげ方等が子ども達の身についており、積極的に行っていた。虫やにおい、大きさ、土の中の様子等気が付いたことをよく友達同士で話し合っており、それを受けてなぜそうなるのか予想をしたり図鑑で調べたりする姿が見られた。実際に育てることで、五感を使いながら様々な興味や関心を広げていることが分かった。

以上

令和8年2月27日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本制作と制作活動による探究 …絵本作り

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
世界に1冊の自分だけの絵本を制作する。イメージが広がり、物語を作る楽しさや絵を描く楽しさを味わう。

2. 活動スケジュール

12月5日 絵本作り 1回目
12月15日 絵本作り 2回目
1月8日 絵本作り 3回目
2月6日 絵本作り 4回目

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

画用紙 色鉛筆

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・色鉛筆を使い、四角を濃く塗りつぶしたり少し薄くしたりしグラデーションを作る。
- ・色を重ね、新しい色を作る。
- ・個人の絵本作りを始める。
- ・絵本の表紙、裏表紙を描き、題名を考える。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・グラデーションを作りながら自然と色の濃淡を意識しており、「きれいだね」「こんなに薄く描けたよ」と友達や保育士等に見せていた。色を重ねて新しい色を作るときには、「変な色ができた」「きれいな色になった」「全部重ねてみよう」等、自分なりの想像力を働かせる姿が見られた。
- ・絵本作りは、多くの子がすでにイメージをもっていたようで、夢中になって描き始める。女兒1名、「どうやって描いたら良いかわからない」と保育士等に相談する。どんな登場人物が良いか、何がおきるか等を一緒に話していると徐々にイメージがわいてきたようで、その後は一人で描き進めていた。
- ・2回目の絵本作りでは皆イメージをもって制作に取り組んでおり、どんどん描き進める。途中、自分たちで席を移動し友達の商品を見ながら、「これ面白いね」等感想を伝えあい、刺激を受けているようだった。途中、講師より前回のグラデーションの話がある。色の濃さを意識してみようと声がかかると、「ここは濃くしてみた」「色を混ぜてみようかな」と前回の活動を思い出し、絵本に取り入れる姿が見られた。
- ・表紙作成の時には、講師より実際に絵本を見ながら何が描いてあるか、どんな色か等のクイズがある。クイズを通し、表紙の細部まで着目したことでよりイメージを持てたようで、その後の表紙作成はスムーズに行う子が多くいた。表紙やタイトルに苦戦する子は2名いたが、絵本がどんな内容か、何が出てくるのかを聞きながら、自分で考えられるようにした。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

・これまで、色鉛筆を使って濃淡をつけたり色々な線を描いたり、粘土を使って絵本に出てくるものを作ったりしたことで、イメージをもって絵本作りに取り掛かっていた。グラデーションの手法は、子どもたち自身が色を重ねる場所を決めて取り入れており、これまでの活動が積み重なっていることを実感した。絵本の表紙、裏表紙になにがあるかのクイズがあったことで、表紙に書かれているもの、絵本の内容との関連性等自然と意識する姿が見られた。絵本作りを通し、子どもたちが色々な手法を使って絵や文字をかく楽しさを味わっていたり、イメージを膨らませ話を繋げていく力を身に着けたりする様子が見られた。

以上

令和8年2月26日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区坂本保育園
所在地	台東区下谷3-11-2

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本制作と制作活動による探究 …粘土遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)
講師を招き、制作の楽しさやマイブック制作の導入として活動を設定する。

2. 活動スケジュール

10月9日 前回制作した紙粘土に絵の具で色を塗る
窓へのお絵描きを楽しむ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵の具 筆 パレット バケツ

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・ 部屋の中から講師に言われた色を探す。可愛い色、変な色を探す
- ・ 自分で作った紙粘土に絵の具で色を塗る
- ・ 水族館をテーマに、絵の具で窓にお絵描きをする

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・ 講師に色を聞かれたときにはすぐに部屋から探し当てていたが、可愛い色、変な色を聞かれるとすぐに答える子、悩む子と反応が分かれた。
- ・ 紙粘土への色塗りは皆すぐに始めており、どの子もイメージがもてているようだった。男児1名、塗っている最中に色が混ざってしまい「直したい」と話がある。本来白くしたいところに色がついてしまったようで、白い絵の具で塗ってみることを提案するとすぐに実行し始める。上手に塗れたようで直ったことを喜んでおり、「でもまた乾く前に塗っちゃうと混ざっちゃうよね」と絵の具の性質を気にする姿も見られた。
- ・ 紙粘土への色塗りが終わった女児1名に講師が声をかけ、絵の具を使って窓に魚を描き始める。すぐに数名気が付き、「窓に絵を描いて良いの？」と驚いたように質問をする。拭けば落ちる、という話を聞くと他の子も描いてみたいと参加する。水族館をテーマにすると魚や海藻、カニ等を次々と描いていた。講師より、外から見るとまた違って見えると話をされ何人かが外側から絵を観察する。実際に見たことで、魚の目の上から色を塗っても外側からはきれいに見えるという話がより実感できたようで、その後のお絵描きに取り入れる姿も見られた。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・色塗りは皆一斉に取り掛かっており、それぞれイメージがしっかり持てているのだ
上
と思った。絵の具を使う中で、性質に気が付いたりそれを取り入れたりする姿も見られ
たため、気づきは全体にも伝えられるようにしていく。
- ・窓へのお絵描きでは、表と裏から見た違いや描き方にとっても興味を示していた。講師
から、葉っぱ（紅葉）や雪もよくあるテーマと話を聞いたため、季節に合わせ今後も取
り入れていく。